

## 【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認（4/26 完了）	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認（4/27 完了）	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認（5/20 完了）	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認
○ 制御棒駆動機構の機能確認（5/21 完了）	○ 制御棒1組（2本）を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止（スクラム）機能を205本※ある全ての制御棒で確認 ※ 1本のみ単独で制御棒の機能確認を実施
○ 原子炉格納容器の漏えい率確認（5/29 完了）	○ 格納容器に窒素ガスを充填し、加圧後に格納容器から漏れ出る1日あたりの窒素ガスの漏えい率を測定し、漏えい率が基準値以下であることを確認
○ 非常用炉心冷却系機能などの確認（5/31 開始）	○ 非常用ディーゼル発電機、非常用炉心冷却系が、所定の時間内に自動起動し、自動起動したポンプが所定の能力を発揮できることを確認中

## 【特記事項】

○ なし。